

「再稼働させない」掲げた 片桐なおみさんに20万人の支持！ 片桐さんの勇気をかき 柏崎刈羽原発再稼働許さない！

【新潟日報社の知事選出口調査結果】
半数が再稼働に否定的

66%が県民投票必要と回答

5月29日に行われた新潟県知事選挙は、花角陣営の徹底した原発問題の争点化外しの中で行われました。その結果、柏崎刈羽原発の再稼働に「反対」と回答した35.7%のうち52.0%のうち80.1%の人が花角さんに投票したことになります。再稼働が容認されたわけでは決してありません。

政府・自民党が規制委員会に審査を急がせ再稼働に前のめりになっている状況の中、柏崎刈羽原発の再稼働の判断が迫られる時期は遠くありません。

知事選の中でいっそう明らかにした原発の危険性を広く県民のみなさんと共有し、再稼働をストップさせましょう。

花角知事は県民に信を問え

再選された花角知事の今回の公約からは、4年前の「県民に信を問う」は消えていました。選挙後に問われて「安全性の検証作業を終えた後に自ら判断し、県民の意思を確認する」とし、その方法はまだ決めていないとしつつ、県議会の判断を最初に例示し、住民投票なども挙げました。花角知事は、「三つの検証をしつかりやる」との

公約を果たすとともに、再稼働の是非については県議会ではなく県民全体に信を問うよう、強く求めます。

他団体と連携して知事に申入れます

呼びかけに応える形で、以下の4点について花角知事に共同で申入れます。

- ① 3つの検証
- ② 再稼働の議論
- ③ 事前了解権拡大
- ④ 県民の意思確認 について。

《検証避難委員会傍聴記》

6月5日に新潟市で開催。世話人3人で参加。前回会合で必要性を指摘する意見が相次いでいた「被ばくシミュレーション」に関する検討が中心でした。県は、シミュレーションは避難委員会の範疇ではなく検証結果の提言後、必要と県が判断した場合は国、市町村、関係機関と連携して行うと繰り返しましたが、話し合いの結果、柏崎刈羽原発で重大事故が起きた場合避難や屋内退避する住民がどの程度被ばくするかを予測するシミュレーションを県が実施する必要があることと、その議論内容などについて報告書に記載する方針で一致をみました。

なお、検証総括委員会が開かれなくなってしまうのは異常事態です。ただちに開催するよう、知事に求めていきたいと思います。

◇参院選挙—各党の原発政策は？

自公政権は従来の「原発依存度を低減する」を覆して「原子力を最大限活用する」としています。原発即時ゼロを打ち出している政党はどこかなど、各党の方針を確認して投票行動に活かしましょう。



6/11 ホコ天の賑わいの中でスタンディング

ゼロネット会員にお誘いしましょう

原発ゼロ長岡市民ネットは「原発をなくしたい」という一点の思いを共有する市民団体です。周りの方をお誘いし、柏崎刈羽原発再稼働NO!の市民の輪を大きくしましょう。

泊原発運転差し止め 画期的な判決!
札幌地裁は5月31日津波対策などを理由に泊原発の3基の運転差し止めを命じました。

7月のアオーレ前行動は、7/11(月)16:00~16:30です。ぜひご参加ください。

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第124号 2022年6月20日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707